

議会報告会における市民から市に対する意見・質疑への執行部見解について(回答)

【要望1】コミュニティバスとあいのりタクシーについて

大野竹田バスが通っているのに、コミュニティバスが走らない。大野竹田バスの運賃が高いこともあって、利用している人はほとんどいない。これから運転免許証を返納する人も増えてくると思うが、コミュニティバスが通らないのであれば、大野竹田バスを利用してもらいやすくするために、高齢者の方を対象に運賃割引をするのはどうか。

【要望1】に対する回答

民間路線バスは、市民の日常生活に必要不可欠な交通機関であることから、その運行の維持等を図るため、本市では国や県と協調して、バス運行に係る欠損額に対して補助を行っています。また、コミュニティバス及びあいのりタクシーは、交通空白地帯における交通手段を確保するため、民間路線バスを補完するものとして運行しています。

御要望いただいた民間路線バスの運賃割引につきましては、バス運行に係る助成を既に行っていることから、現在のところ、本市での実施は考えていませんが、今後も、移動弱者を含むすべての人の交通手段を維持していくため、地域公共交通の利用促進や利便性向上等に取り組んでまいります。

【要望2】里の旅公社について

私は、原尻の滝のインフォメーションセンターで週末にNPO法人としてボランティアをしているが、そこを訪れた観光客から次の観光地までの行き方、見どころなどを尋ねられる。しかし地図がなく、次の観光地までの二次交通がうまく関連づいていない。里の旅公社の職員が三重町ではなく、原尻の滝や清川まで出てきてほしい。現在、里の旅公社は2名の職員が中心となって回している状態と聞くと、それで観光の仕事が潤沢にできるとは思えない。まずはそういった部署のマンパワー不足を解消してもらいたい。

【要望2】に対する回答

一般社団法人ぶんご大野里の旅公社は、本市の多様な地域資源を活用して豊後大野らしい観光ツーリズムに対応できる組織として設立しました。

里の旅公社は、本市の観光振興を図るための基本方針となる「豊後大野市観光振興ビジョン」の実現に向け、市と連携して取り組む組織として位置付けていることから、市では、里の旅公社の運営に対して補助金の交付や観光に関する事業を委託するなどして連携を図りながら本市の観光振興に取り組んでいるところです。

今後とも、里の旅公社が観光ツーリズムを展開するための事業を実施する上で必要となる人員等について協議しながら支援してまいります。

【要望3】 ジオパーク全国大会について

先日のジオパーク全国大会に参加して非常に感激したが、その後、商工観光課に反省会みたいなものはないかと聞いたら特にないと言われた。関係者だけではなく、一般市民の意見を気軽に取り入れるような機会をつくって欲しい。

【要望3】 に対する回答

「第10回日本ジオパーク全国大会 2019 おおいた大会」には、全国のジオパーク関係者を始め市民や県民など約5,000人を超える方々に、また、本市を会場に開催された招待講演、発表や分科会、ジオツアーにも多くの方に御参加いただき、盛会のうちに終了することができました。

この全国大会での経験を今後のジオパーク活動に生かしていくために、御協力、御参加いただいた市民皆様の御意見については、「おおいた豊後大野ジオパーク」のホームページ上に御意見をお寄せいただけるよう対応してまいりたいと考えます。